

## 特集

地域からの  
情報発信

## ゆきとぴあ七曲 ～花嫁道中～

水上市レポーター 矢野 二郎  
(羽後町土地改良区事務局長)

羽後町の田代地区は、出羽丘陵に囲まれた山間地で、冬は、2mを越す豪雪となり、12月から3月までの間は、まるで墨絵のような風景となります。

そんな中、昭和61年から「雪国を楽園に」を合言葉に、かつては地区の一番の難所であった七曲峠を越えて馬そりに揺られながらの花嫁道中や、昔ながらの結婚式が再現されるイベントが「ゆきとぴあ七曲」です。

その年に結婚予定のカップルの中から公募して選ばれた、和服姿にマントを羽織った花嫁・花婿を乗せた馬そりの行列が、西馬音内の役場前から七曲峠を越え、田代の大地主だった旧長谷山邸までの12キロの行程を、5時間かけて歩きます。



行程には、このイベントに合わせた雪祭り広場もあり、花嫁道中は、それぞれに立ち寄りながら、多くの方々から祝福を受けます。峠の両側に出来た雪壁をくり抜いて造った7,000本の雪灯籠が、通りすぎる馬そり行列を幻想的に彩ります。まるで人生の七曲峠に行く足元を照らす様に……。

雪灯籠に彩られた七曲峠(通称キャンドルロード)を歩くキャンドルウォーキングは、今年で28回目を迎え、小・中学生も参加して、このイベントを支えます。キャンドルロードの幻想的な光景は、峠の約4キロに渡って続いており、一般車両の通行も可能ですので、車で通る際はスモールライトにするといいでしょう。(きっと感動すると思います)

終点の旧長谷山邸前では、多くの人々が駆けつけ二人を祝福します。邸宅の3階で神事のあと、契の杯を交わし、冬花火でクライマックスとなります。



人と雪が織り成す、羽後町のイベントの当日スタッフは、中学生から70代まで200名を超え、すべてボランティアで行われております。(事務局: 役場企画商工課)

雪が消えると峠の桜並木が満開となります。春はもうすぐ、馬そりに乗って峠を越えた二人に幸せあれ……。



# 「ふるさと田んぼと水」子ども絵画展2012

全国水土里ネットと都道府県水土里ネット主催による、「ふるさと田んぼと水」子ども絵画展2012は、全国から8,745点の応募があり、厳正な審査の結果、入賞23作品、入選92作品、地方団体賞60作品が決定されました。



本会を通じて応募された作品の中から、県内では初めてとなる入選1作品が選ばれました。おめでとうございます。

## 入 選

### 「むかしのこめだし」

横手市立増田小学校1年  
鈴木悠斗さん

## インフォメーション

### 水土里ネット秋田・ホームページのURLが新しくなります。

水土里ネット秋田のホームページのURLが、4月から変更になります。内容が充実し、フェイスブックによる書込みも可能となっています。

「お気に入り」または「ブックマーク」登録されている方は変更をお願いします。

4月からのURL → <http://www.akita-midori.net/>

### 野山の花 ウメ (梅)



早春、葉より先に白・淡紅・紅などの香りの良い花を咲かせるバラ科の落葉高木、またはその果実。300種以上の品種があり、花芽はモモと異なり、一節に1個、5枚の花弁で3cmほどの花を咲かせる。

果実は梅干し、梅酒などの食用の他、漢方薬として健胃、止血、強心作用があるといわれる。『花言葉：厳しい美しさ、あでやかさ』

### 編 集 後 記

◆ 早春賦という歌の中に「春といっても名ばかりで、風はまだ寒い」という歌詞があります。春まだ浅いこの時期にぴったり。今年は、平成18年以上の記録的な豪雪となり、冬期交通障害、除雪や屋根の雪下ろし事故が多発しました。それでも「はる」という響きは嬉しく、長い冬を乗り越えてきたという感慨がわき起こります。平成23年3月11日に発生した東日本大震災から2年が過ぎましたが、毎年、厳しい冬がくれば、春はすぐその隣。人生の厳しい冬もいつまでも続くわけではなく、希望に満ちた未来がすぐ先に控えている。「防災」「備災」という意識を常にかみしめて「心の復興」を支援していきたいと願っています。

(総務企画部広報・渉外班)

※本印刷用紙は、大昭和板紙秋田工場で生産された「地産池消製品」を使用しております。